

## ■ 当社の取り組み

### 1. フルーツの「循環型モデル」を作り、食品ロスを削減しています。

#### ■ 関連目標



・フルーツの生産から消費まで、芋銀グループの各部門（仲卸・製造・加工・外食など）が連携し、それぞれの流通・販売チャネルを活用して果物のReUse（リユース）や残渣の削減に努めています。

・やむを得ず発生する廃棄に関しても、環境負荷が低い飼料・肥料等に積極利用しています。

### 2. 「知れる・食べれる・役に立つ」多様な雇用を創出しています。

#### ■ 関連目標



・24時間稼働のフルーツファクトリー(本社工場・江南工場)を中心に、年齢や国籍を問わずグローバルな採用を積極的に行っています。

また、勤務時間の自由度が高い事はもちろん、多国語マニュアルの設置や誰でも利用できるビュッフェスタイルの食堂の設置など、個人のライフスタイルに合わせた働きやすい環境を実現しています。

・芋銀グループでは「フレッシュでhappyを!」というスローガンのもと、働く上で大切にしたい共通の価値観として「6VALUE(シックスバリュー)」を掲げています。例えば「どんなときでも楽しんでいこう」や、「相手の立場になって考える」など、スタッフ各人がこのバリューを遵守し、社内外問わず私たちに関わるすべての人をhappyにします。

### 3. フルーツの可能性に挑戦し、「美容と健康」に貢献します。

#### ■ 関連目標



・既存の消費形態にこだわらず、フルーツを「非食品」の分野で有効活用する手段を研究開発し、フルーツの可能性に挑戦し続けます。

・フルーツの加工品の製造や、新業態のフルーツカフェ「サニーオーチャード」の運営を通じて、フルーツを少しでも多くの人に食べてもらうことにより、人々の美容と健康に貢献します。

## ■ お問い合わせ

株式会社 芋銀 経営企画部

営業時間 / 9:00～18:00(水・日・祝を除く)

愛知県名古屋市熱田区川並町3-2

TEL/ 052-681-1600

FAX/ 052-681-3322

webサイト <http://www.imogin.co.jp/>



芋銀ホームページ

## ■ SDGsとは？

### 世界が目指す持続可能な開発目標



SDGsは、「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称です。2015年9月の国連サミットで採択され、2030年までの15年間を目標の達成期限としています。

SDGsが目指す目標というのは、「世界の貧困をなくす」そして「持続可能な世界を実現する」ことで、それらをアイコンにもある17の取り組み、そして169のターゲット(具体目標)を設けて、世界中が安心して暮らせる社会を目指しています。

## ■ 代表メッセージ

### 社会問題の解決を起点とした新たなビジネスを創出し SDGsへの貢献を通じて企業価値を高める

新型コロナウイルスの感染により、亡くなられた方々に謹んでお悔やみ申し上げます。また、世界各地で今なお感染者の治療に当たられている医療従事者の皆さま、感染拡大の防止に努めている全ての関係者の皆さまに心よりの敬意と感謝を申し上げます。一日でも早く世界中が穏やかな日々を取り戻せるよう、収束に向けて企業としての責任を果たしてまいります。

当社は2024年に創業125年を迎えます。私たちは「フルーツを通じて、新しい可能性を追求する」という経営理念のもと、良質な商品の提供に取り組んでまいりました。その思いは時代を超えて受け継がれ、現在ではカットフルーツやフルーツサンドを主力とする製造業、そしてフルーツの新しい食べ方を提案する飲食業の「サニーオーチャード」を展開し、常に新しい事業へ挑戦し続けております。



代表取締役社長  
小出 崇博

芋銀グループでは企業活動が経済・環境に与える影響を認識し、2019年からSDGs方針を策定して取り組んでおります。今後も強みを生かした事業展開により社会問題の解決を起点とした新たなビジネスを創出し、サステナビリティへの貢献を通じてブランド価値と企業価値を高めてまいります。

芋銀グループのスタッフは、「消費者の安心・安全」に始まり、「フードロスを減らす」、「青果流通の一翼を担い、日本の農業を守る」といった生鮮食品ならではの使命感を各々が持って働いています。そして品質が高いフルーツをより多くの人々に味わっていただくため、私達が架け橋となってお届けする役割を担っていきたいと考えています。SDGsは私たちが実現したい社会を、事業活動の一つ一つに深く「意味づけ」するものと捉え、これからも積極的に進めてまいります。

小出 崇博